


# 社会資源を活用した、 新たなラーニングコモンズの開発

＜研究者＞大西明実(代表)、尾崎司、佐藤康富、金子日菜乃

東京家政大学ヒューマンライフ支援機構  
プロジェクト研究助成費



# 1. 研究の目的とそのアプローチ

## [取り組みたい課題]

- ①地域資源を活用した保育を  
実践できる人材の養成
- ②地域連携プラットフォーム
- ③学内にある資源(自然環境  
施設、教職員・学生、教員  
が持つネットワーク)を活用  
し、持続可能な社会づくりに  
貢献する学生の育成

地域社会まるごとの  
社会資源を活かし、次世代の  
学生を育てる場を作るとは、  
どういうことか？

[SSMベースのアクションリサーチ]

### [SSMによる根底定義]

- ・身近な環境や生活で新しい見方や行動ができる  
ようになるために
- ・様々な考え方、話し方の人・場に出会うことに  
よって
- ・身近な環境にとって何ができるのかを考え、取り  
入れてもらうこと

[引用・参考文献] 内山研一「現場の学としてのアクションリサーチ ソフトシステムズ方法論の日本的再構築」、白桃書房、2007

板橋校舎(児童学科・保育科)

## 2. 屋外型ラーニングコモンズ～5つの学習空間を構想

どのような活動ができるか？



### 3. 写真でたどる活動事例 1～5

### 《取り組みの成果》

板橋校舎(児童学科・保育科)

- (1) 育てて食べるポタジェ栽培の授業実践
- (2) プロナチュラリスト (ゲストレクチャー)

(3) 畑づくり

- (4) 学生企画  
「デジタル動物図鑑」
- (5) 箱型ビオトープ



## 4. 写真でたどる活動事例 6 《取り組みの成果》

板橋校舎(児童学科・保育科)

(6)親子で楽しむ、おもしろ防災デイキャンプ



ソーラークッカー  
防災食育



企業、子ども動物園、世代間交流



段ボール秘密基地  
板橋区地域防災支援課



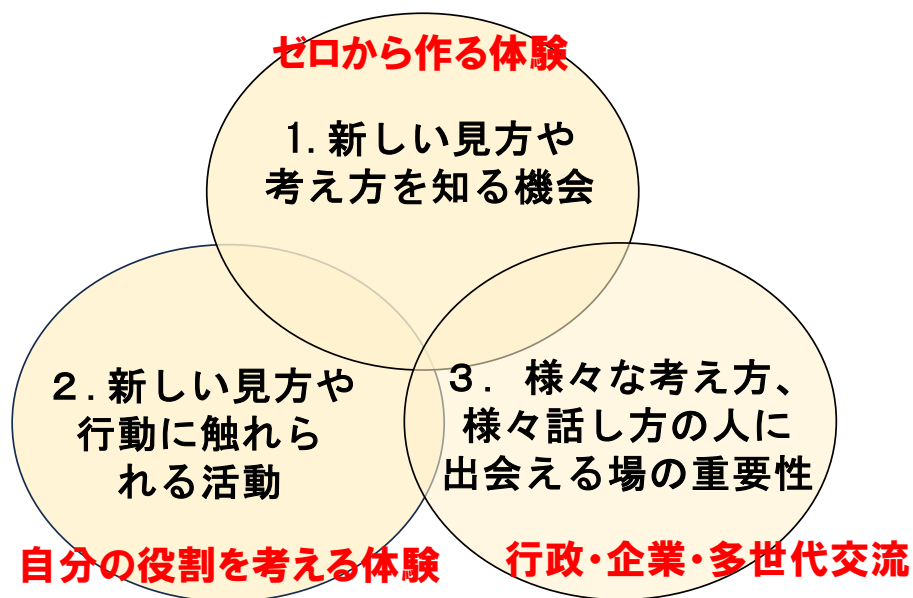
ボードゲーム、火おこし体験



学生が作ったチラシ

## 5. 考察～概念活動モデルと実態の比較

学生の発言や関わった保護者の感想、アンケートの回答より



## 板橋校舎(児童学科・保育科) 6. 屋外型ラーニングcommons

4つの活動を軸としたコミュニティづくり

